

出席報告



嶋谷出席委員長
本日の出席報告

委員会報告



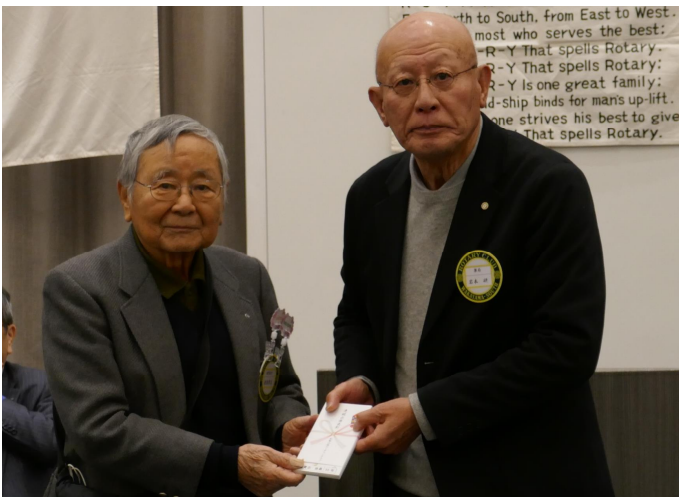
越部親睦活動委員長
2月2日親睦旅行ご参加の皆様
時間厳守でお願い致します。

新 会 員



氏 名 小林 薫
生年月日 1972年 3月 1日 星座 うお座
職業分類 旅行斡旋
家族構成 妻、長女、次女

連続出席表彰



前窪貫志会員 55年



豊田会員より小林様の紹介があり、ご本人スピーチ後に
岩本会長よりクラブ会員の七つ道具をお渡ししました。

ニコニコ箱



本人誕生日・・・貴志君
パートナー誕生日・・・金谷君
入会記念日・・・前窪君・山田君
皆出席表彰・・・前窪君

田中(章)君・・・ゴルフ例会にて岩本会長の叱責激励をい
ただきながら優勝することができました。
ありがとうございました。

田村君・・・卓話させていただいて。
越部君・・・岡崎会員ごちそうさまでした。
林(芳)君・・・クラブ協議会ブツチしてしまいました。
前嶋君・・・1/30まちがえました。スママセン。
女性会員一同・・・女性会の食事をしました。
楽しい時間をありがとうございました。

計 ¥45,180 - 累計 ¥1,826,390 -



卓話

「地域包括ケアは できあがったか!!」

田村 公之 会員



「地域包括ケア」という概念は1970年代に広島県御調町公立みつぎ総合病院の院長兼保健所長であった山口昇医師が提唱したものです。

その内容は町財政を圧迫するみつぎ病院の改革から始まり、寝たきり入院患者を在宅療養へ移行させる為に必要であった医療介護制度変革のことです。

日本医師会雑誌2014年7月号第143巻・第4号の「地域包括ケアの今と将来」の特集号の巻頭にあります。

みつぎ病院が行った医療介護福祉制度の連携は、その後の地域包括ケアの

「萌芽」となっています。

以下の項目が完成されている社会を「地域包括ケア」と言います。

- ①「医療・介護」 ②「介護・リハビリテーション」
- ③「保健・予防」 ④「生活支援・福祉サービス」
- ⑤「すまいとすまい方」⑥「本人・家族の選択と心構え」

2025年問題とは、団塊の世代が全て後期高齢者になる年で、その年に合わせて地域包括ケアを作成しなければならないという、一種の使命感のようなものを国は持っていました。因みに2025年は昭和100年、戦後80年の節目の年です。それはH14年からH28年まで日本医師会介護保険委員として2ヶ月に1回、日本医師会館へ出席し、毎回テーマを与えられて検討したことが、私が2025年を意識した大きな理由だと思えます。

地域包括ケアの法律的な背景は「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備に関する法律」

これを「医療介護総合確保法」といいます。

①から⑥ができてきていることを目標にしています。

その役目の一担を地域包括支援センターが担っています。地域ごとに自分達で考えて地域包括ケアを完成させていきたいと考えています。しかし、人口減が進んでいく限り永遠に微調整が必要な状態が続きます。

皆さんがんばりましょう。



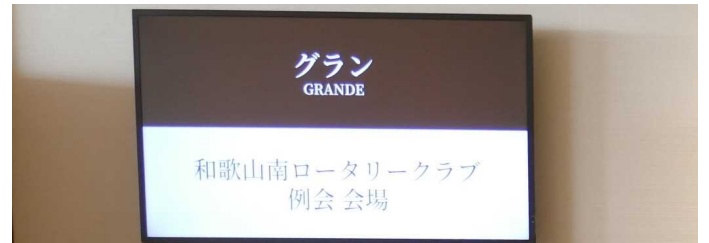
1月 お誕生祝



HAPPY BIRTHDAY



親睦活動委員会メンバー



2024-2025年度テーマ: 「皆んなで仲良く!」「Get Along Everyone!」

親睦旅行

2月2日(日)に親睦旅行 会員家族合わせて42名で淡路島に行って来ました。淡路夢舞台見学後 昼食には、とらふぐのコース美味しく頂き うずしおクルーズを楽しみました。参加された皆様お疲れ様でした。



2024-2025年度テーマ:「みんなで仲良く!」「Get Along Everyone!」